

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2011年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)社会福祉法人 七施会 地域	階数	地上4F
建設地	京都府京都市右京区太秦一ノ井町4	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	50 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	病院, 集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	1900年1月 0.0	評価の実施日	2014年3月4日
敷地面積	1,350 m ²	作成者	天野 要
建築面積	810 m ²	確認日	2014年3月18日
延床面積	2,673 m ²	確認者	小田 裕美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

音環境 2.9, 温熱環境 2.3, 光・視環境 3.3, 空気質環境 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

機能性 3.0, 耐用性 3.1, 対応性 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境 2.0, まちなみ 3.0, 地域性 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5

建物の 3.0, 自然エネ 3.4, 設備システ 4.4, 効率的 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源 3.4, 非再生材料の 2.9, 汚染物質 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

地球温暖化 3.4, 地域環境 2.5, 周辺環境 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	設備において高効率機器の採用によりエネルギー量を減らし、環境への配慮を行っている。	その他 0
Q1 室内環境	空気室環境においてF☆☆☆☆建材を使用し化学物質の拡散を抑えるとともに、有効自然換気ができるよう窓面積を大きく計画している。	Q3 室外環境(敷地内) 設備機器を屋上へ配置し高所から排熱を行っている。
Q2 サービス性能	長寿命の配管材を使用している。	
LR1 エネルギー	高効率機器を採用している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を設けていない。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓を採用している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される